

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医療人育成・支援センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年1月 福島県立医科大学医療人育成・支援センター 教授 大谷晃司

【研究課題名】 医学部生に対するコミュニケーション論講義における
学生の感想と自信に関する研究

【研究期間】

2020年1月（承認後）～2021年6月

【研究の意義・目的】

本研究の目的は、医学部1年生コミュニケーション論に参加した学生の皆様の感想をまとめ、講義実施前後のコミュニケーションに対する自信の推移を検討することで、本授業から得られた学生のみなさまへの影響を検討することです。

現在、医師のコミュニケーションの質を高めることが、患者の良好な経過を得られることにつながることを示されており、医学生からの初期コミュニケーション教育の重要性が述べられています。一方、医学生に対するコミュニケーション教育は体系的に構築されておらず、教員の経験則などに基づく授業が展開されることが大半でした。

医療コミュニケーション力の向上のため、近年、動機づけ面接に基づく医療コミュニケーションの質を高める試みがいくつかなされています。動機づけ面接とは、開かれた質問、是認、言い換え、要約といった面接技法を駆使し、患者との良好なコミュニケーションを構築しつつ、患者の行動変容を促す技法です。

本講義では、医学生の医療コミュニケーションの質を高めることを目的とし、動機づけ面接の理論に基づく講義を構築し、2019年9月から11月にかけて計7回の講義を行いました。また、講義への理解度を確認するために、各講義終了後に、学生からの感想を取得し、どの程度コミュニケーションに自信を持って取り組めるかを確認するために、NRS（0-100で学生の自信を問う方法）を用いて、講義実施前後の学生の自信の程度を確認しました。本研究においては、これらの指標を基に、コミュニケーション論の実践報告を行うために、感想及び自信の推移について統計解析を試みます。

【研究の対象となる方】

2019年9月から2019年11月までの間に、医学部1年生コミュニケーション論に出席した医学生

【研究の方法】

上記対象者の、授業の感想、コミュニケーションに関する自信の程度（0-100で回答）、年齢、性別を分析し、講義実施前後の推移を検討します。

【研究組織】

研究責任者（所属）医療人育成・支援センター（職）教授（氏名）大谷晃司
主任研究者（所属）医療人育成・支援センター（職）助教（氏名）青木俊太郎
研究分担者（所属）医療人育成・支援センター（職）教授（氏名）色摩（亀岡）弥生
研究分担者（所属）健康リスクコミュニケーション学講座
（職）助教（氏名）竹林由武

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医療人育成・支援センター 担当 青木俊太郎
電話:024-547-1714 FAX: 024-547-1724
E-mail:jmeecd@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医療人育成・支援センター 担当 青木俊太郎
電話:024-547-1714 FAX: 024-547-1724
E-mail:jmeecd@fmu.ac.jp